



2学期がスタートしました！



1カ月の夏休みを経て、9月1日より2学期がスタートしました。保護者のご協力のもと、夏休みの間大きな怪我や病気をした子は誰一人いませんでした。保護者の皆様、ご理解・ご協力誠にありがとうございました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大が10歳未満を含めどんどん広がり、緊急事態宣言が発令される中、残念ながら全員揃っての始業式とはなりません。また密を避けるため、クラス別での式となりました。

園では今まで以上に感染防止対策をとっていきます。異学年交流を避けるなど、子ども達には不便をかけますが、「命を守る」ことが最優先課題なので、柔軟に対応をしていきます。保護者の皆様、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

2学期には、今現在運動参観日や表現参観日、遠足などを計画しています。始業式には、「ウイルスや風邪に負けない元気な体をつくろう」「自分で考えて、いろいろなことにチャレンジしてみよう」「友達と一緒にアイデアを出し合い、遊びを楽しもう」と話をしました。コロナ禍で多くの行事が延期・中止になっていますが、経験させたい保育については、子ども達が生き生きと躍動できるよう今後も工夫していきたいと思っております。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

一日も早い生活リズムの確立を！

緊急事態宣言に伴い、福山市内の公立小中学校は分散登校となりました。曜日によって朝から登校して、午後家でリモート学習をするグループと逆に午前中家でリモート学習をして、午後から登校するグループに分かれます。（※学校の規模や環境によって、形態は違うと思います。）そのため、特に夏休み明けは、小中学生だけでなく幼稚園の子ども達もリズムが取れにくくなります。幼稚園は、人数が少ないので、登園降園は通常通りです。自宅で過ごすお子さんも含め、一日も早く生活リズムが戻るようご協力をよろしくお願いいたします。



今こそ、伝え合う時間を大切に♡

コロナ感染が始まって以来、子ども達にも毎日マスクの着用をお願いせざるを得ない厳しい状況です。しかし、乳幼児にとって、マスクを着用しての毎日の生活は、大人が想像する以上に不安感が増し、成長に悪影響を及ぼします。マスクを着用することによって、人の表情が読み取れないこと、口元の動きが見えないことは、相手の気持ちを察したりことばの発達に影響を及ぼしたりします。

明和政子教授（京都大学大学院教育学研究科）は「4歳～10歳くらいの子どもの脳は、【相手の視点に立って考えること】を発達させる時期。コミュニケーションを通して、相手はどう思っているのか、自分はどのように振る舞ったらいいのかをイメージする能力が芽生えてくる。」とされています。



園ではいつも以上に感情を身体で表現する等してコミュニケーションをとっていきます。家庭でもふれあいを大切に、積極的に表情や気持ちを伝え合う機会を作ってください。子どもにとってかけがえのない時間です。

廊下・倉庫・すみれ組をリニューアル ドーンと！園庭に土山

廊下が老朽化し、安全面で不安があったので、全面張替えしていただきました。廊下が見違えるほどとても明るくなりました。

また、子ども達が外で楽しく遊べるように、園芸倉庫や砂場倉庫のペンキを塗り直しました。子ども達のわくわく感が増すことでしょう。

さらに、子ども達が制作したい時に自由に入出しし、想像を膨らませながら牛乳パックや箱等好きな材料を楽しく選べるようにすみれ組をリニューアルしました。

そして、園庭には土山：子ども達の遊びが広がり、さらに深化するように土を入れてもらいました。



一日も早くみんなが揃ってわいわい言いながら歓声を上げて遊ぶ日が来るのを待っています。

